

わだいの



化石のレプリカづくり



化石採集体験

大阪アウトドアフェスティバル2011 御所浦

「日本の宝島“天草”」をPR!

国内外の100を超える企業や団体が出展する日本最大級のアウトドア総合展示会「大阪アウトドアフェスティバル2011」が3月12・13日、大阪市のインテックス大阪で開かれ、両日あわせて約39,000人が来場しにぎわいを見せる中、市の職員や学芸員、御所浦アイランドツーリズム推進協議会で構成した宣伝隊が、市のPR活動を行いました。

催しでは、宣伝隊が市の観光情報を提供したほか、御所浦町で実施している化石のレプリカづくりや化石採集などの体験コーナーを開催。来場者は、「天草に一度行ってみたい」「どう行けばいいのかわからない」などと話し大盛況でした。

栖本オリジナル米焼酎「栖本太鼓の響」販売中 栖本

好評につき再びお目見え!

栖本まちづくり協議会では、地元産のコシヒカリ(1等米とステビア草を肥料にして栽培した米をブレンド)を使用したオリジナル米焼酎「栖本太鼓の響」を、3月22日から本数限定で販売しています。これは同協議会が、昨年4月に発売し好評だったことを受け、再び企画したもので、今回は新たに原酒も200本限定で販売。現在、栖本町内の商店や酒店で販売しています。詳細は、同協議会事務局(栖本支所・総務市民課内) ☎03111へお尋ねください。



▲1,800mlが2,350円、720mlが1,500円(箱は別売り)、原酒720mlが3,500円(箱付き)

親子シイタケ駒うち体験 河浦

1年後のシイタケ収穫が楽しみだ!

2月27日、「第7回親子シイタケ駒うち体験」が板之河内森林公園で開かれ、親子など60人が参加しました。これは、同公園利用促進委員会が、シイタケの栽培方法や収穫の喜びを知ってもらおうと、毎年実施しているもの。参加者は、指導者からシイタケの生産方法などの説明を受けたあと、駒打ち作業を体験。用意されたクヌギの木に金づちを使っていねいに駒を打ち込んでいました。なお、駒打ちした木は同委員会で約1年間管理し、その後参加者に配布されます。



▲駒打ちをする子どもたち

宮地岳かかし村 本渡

今年も表情豊かな“かかし”の集団が出現!

4月1日から約1カ月間、宮地岳町の国道266号沿いにある豆木場バス停付近に、かかしの集団「宮地岳かかし村」がお目見えします。この取り組みは、同町公民館の碓井弘幸館長を中心にして、地元の高齢者や小学生、宮地岳地区振興会などの協力で平成21年から実施しているもの。今回は、「カップと人間のすもう合戦」「いしうすをひく人」などあらたに25体を製作。昨年までに製作した25体とあわせて、50体が一堂に展示されます。

碓井館長は、「もともとお年寄りの楽しみとして始めたものが、地域をあげての取り組みになってきている。ぜひ見に来てほしい」と話していました。



かかしたちに囲まれる碓井館長



▲昨年のようなすもう合戦



▲牛深ハイヤ踊りを披露する「あかねちゃん」

牛深のマスコット「あかねちゃん」の着ぐるみが誕生 牛深

牛深ハイヤ祭りにぜひおいで!

このほど、牛深ハイヤ祭り実行委員会では、牛深のマスコット「あかねちゃん」の着ぐるみを製作しました。このマスコットは、平成3年の第20回牛深ハイヤ祭りの開催を記念して一般公募で選ばれたもので、牛深地方で大漁を意味する方言「あかね」にちなんで名付けられました。イワシをモチーフにした女の子で、牛深ハイヤ踊りが得意という設定。4月15~17日に開かれる第40回牛深ハイヤ祭りでは、20歳になりすてきな女性になったあかねちゃんを見ることが出来ます。皆さんぜひご来場ください。

下津浦ひな人形展示会 有明

子どもたちの健やかな成長を願って

2月15日から3月3日まで、「下津浦ひな人形展示会」が下津浦公民館・迫分館で開かれました。これは下津浦地区振興会が、各家庭に保管されているひな人形を一堂に展示することで、子どもたちの健やかな成長を地区全体で願おうと、初めて実施したものです。会場には、色鮮やかなひな人形や紙粘土製のひな人形など約100体を展示。来場者は、ずらりと並んだひな人形に見入っていました。また、同3日には下津浦いきいきサロンが行われ、参加者は自慢の手料理を持ち寄りひな祭りを祝っていました。



▲ひな人形の前で手料理を味わう参加者